

インフルエンザ様疾患による休校・学年閉鎖等について

1 休校・学年閉鎖等について

	所在地	施設名	措置種別	学年	措置した学級数 (学年の総組数)	休校	学年閉鎖等	学級閉鎖	在籍数	患者数	欠席数	措置の期間	備考
1	荒尾市	荒尾市立有明小学校	学年	1	1	0	1	0	25	8	8	12月3日 ~ 12月5日	
計			—	—	—	0	1	0	25	8	8		

■学校の休業等に係るインフルエンザ様疾患の発生状況 (2013~2014シーズン)

期 間	9~11月 (9/2~12/1)	12月 (12/2~)	合計
合計(人数)	0	8	8
保健所別	熊本市	0	0
	有明	0	8
	八代	0	0
	人吉	0	0
	水俣	0	0
	山鹿	0	0
	菊池	0	0
	阿蘇	0	0
	御船	0	0
	宇城	0	0
天草	0	0	

※学校等からの届出があった日でカウントしています。

○インフルエンザの予防方法は

- ・せきエチケットを守りましょう。
- ・出来る限り人混みを避けましょう。
- ・こまめにうがいや石けんを使った手洗いをしましょう。
- ・十分な栄養、休養、睡眠を心がけましょう。



○「せき」や「くしゃみ」で出るしぶきで、ウイルスが広がります。

- ・「せき」や「くしゃみ」が出るときは、マスクを着用しましょう。
- ・マスクをしていない場合は、「せき」や「くしゃみ」をする際は、ティッシュなどで口や鼻を押さえ、顔をそむけましょう。

(問い合わせ先)
健康福祉部健康危機管理課
担当者 友枝、樋口
内線 7085、7080
ダイヤル 096-333-2240

【全国・熊本県のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の平成25年第47週（11月18日～11月24日）の定点あたりの患者報告数は「0.27」となり、第43週（10月21日～10月27日）以降増加が続いています。
- ② 県内の平成25年第47週（11月18日～11月24日）の定点あたり患者報告数は「0.16」と低いレベルにありますが、今後急激に患者数が増加することが予想されますので警戒が必要です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間患者が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 手洗い・うがいを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ **せきエチケット**を守る。

※せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】

シーズン	初の臨時休業	流行入りした週	注意報レベルに達した週（※1）	警報レベルに達した週（※2）
2012～2013	平成24年12月17日	平成24年第52週	平成25年第3週	警報レベルに至らなかった
2011～2012	平成23年12月14日	平成24年第1週	平成24年第3週	平成24年第4週
2010～2011	平成22年11月16日	平成22年第52週	平成23年第2週	平成23年第3週

※ 1 注意報レベル・・・定点あたりの患者報告数 10

※ 2 警報レベル・・・定点あたりの患者報告数 30